

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要	
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	心理学 Psychology	必修	講義	15	(1)	認知、思考、行動などにおける心理の過程を知り、人の内面を見る手がかりとし、理解することができる。
		教育学 Pedagogy	必修	講義	15	(1)	人間の形成における教育の機能とその具体的方法を理解する。
		物理学 Physics	必修	講義	15	(1)	理学療法に関連した物理学の基礎的な知識を身につける。
		統計学 Statistics	必修	講義	15	(1)	統計の考え方を身につける。
		健康科学 Physical Fitness	必修	演習	60	(2)	理学療法士に必要な体育学理論を理解し、自身の運動能力を知り、その向上を図るために適切な運動を計画し、実践する。
		情報処理Ⅰ Information ProcessingⅠ	必修	演習	30	(1)	コンピュータの使い方を身につける。
		情報処理Ⅱ Information ProcessingⅡ	必修	演習	30	(1)	Word、Excel、Powerpointなどのソフトの基本的な使い方を学び、活用することができる。
		英語Ⅰ(読解) EnglishⅠ(Reading)	必修	講義	15	(1)	英文の読解能力を身につける。
		英語Ⅱ(会話) EnglishⅡ(Speaking)	必修	講義	15	(1)	実用英会話能力を身につける。
		医学用語(医療英語) Medical Term(Medical English)	必修	講義	45	(2)	医療で使用される用語や、英語の専門用語を学び、実践的に活用できる。
		人間関係論 Human Relations Theory	必修	講義	30	(1)	コミュニケーションを通じて人間関係の構築の基本的な考え方とその実践について知識を得る。
専門基礎分野	および人体の構造と機能的な発達	解剖学Ⅰ AnatomyⅠ	必修	講義	75	(4)	運動器系、末梢神経系の構造について理解する。生体、人体標本、組織標本の観察や触察を通して人体の構造をマクロ及びミクロレベルで理解する。
		解剖学Ⅱ AnatomyⅡ	必修	講義	30	(2)	内臓器系、中枢神経系の構造について理解する。
		解剖学Ⅲ AnatomyⅢ	必修	演習	45	(2)	運動器系、末梢神経系の構造について、触診を通じて学び、体表解剖の観点で理解する。

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要
人体の構造と機能および心身の発達	生理学 Physiology	必修	講義	75	(4)	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから理解する。
	運動生理学 Exercise Physiology	必修	講義	30	(2)	運動に関わる生体機能について理解する。
	運動学 Kinematics	必修	講義	75	(4)	人体に生じる運動を多面的に理解する。
	運動学実習 Practical Classes of Kinematics	必修	実習	60	(2)	運動及び動作分析の基本的な手法を実践できるようになる。
	老年学 Gerontology	必修	講義	15	(1)	老いとは何か、高齢者に見られる特徴や疾患について理解する。
	人間発達学 Human Development	必修	講義	15	(1)	人の生涯を通して身体的、精神的、社会的な発達を理解する。
専門基礎分野 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 Pathology	必修	講義	15	(1)	疾病の原因を理解する。
	臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	30	(2)	障害者、患者の心理を理解し、対応方法を身につける。
	一般臨床医学 Clinical Medicine	必修	講義	15	(1)	診断学とその他の臨床医学を理解する。
	整形外科学 Orthopedic Surgery	必修	講義	30	(2)	整形外科学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。
	神経内科学 Neurological Medicine	必修	講義	15	(1)	神経内科学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。
	内科学 Internal Medicine	必修	講義	30	(2)	内科学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。
	精神医学 Psychiatry	必修	講義	15	(1)	精神医学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。
	小児科学 Pediatrics	必修	講義	15	(1)	小児科学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	必修	講義	15	(1)	脳神経外科学の基本的知識を身につけ、理学療法思考に活用できる。
	救急法 First Aid	必修	講義	30	(2)	基本的救急処置の理論と技術を理解する。
	健康医療福祉とリハビリテーションの理念	必修	講義	30	(2)	理学療法に関連する法律と医療を取り巻く関連法規の知識を得る。
	医療関連法規 Medical Regulations	必修	講義	30	(2)	理学療法に関連する法律と医療を取り巻く関連法規の知識を得る。
	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	15	(1)	疾病や障害の予防に対する方法を理解する。
	リハビリテーション介助論 Rehabilitation Assistance	必修	講義	15	(1)	リハビリテーションを安全に行なうための介助法について学び、実践的に活用できる。
専門分野	チーム医療論 Interprofessional Care	必修	講義	30	(2)	リハビリテーションチームとしての理学療法士の関わり方、またチーム内の各専門職の役割について理解し、チーム医療において活用できる。
	理学療法概論 Introduction to Physiotherapy	必修	講義	15	(1)	理学療法の全体像を把握し、説明することができる。
	理学療法研究法 Investigation Approach of Physiotherapy	必修	講義	15	(1)	研究の手法を理解する。
	卒業研究 I Graduation Research I	必修	演習	60	(2)	研究のテーマが検討でき、計画を立案する。その過程で理学療法に関する探究心を身につける。
	卒業研究 II Graduation Research II	必修	演習	60	(2)	研究のプロセスを実践することができる。その過程で理学療法に関する探究心を継続的に身につける。
	動作観察・分析 I Assesment of Performance I	必須	講義	15	(1)	動作を観察する初歩の観点を知る。
	動作観察・分析 II Assesment of Performance II	必修	講義	60	(4)	動作観察・分析を学び、評価につなげる過程を理解する。
	動作観察・分析 III Assesment of Performance III	必修	講義	30	(2)	臨床をイメージした動作の評価及び分析を理解する。
海外セミナー Physiotherapy in Overseas	必修	講義	15	(1)	海外の理学療法の現状について説明できるようになる。	

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要		
専門分野	基礎 理学療法 学							
		文献調査法 Literature Reserch	必修	講義	15	(1)	文献の収集方法と批判的読解の方法を身につけ、理学療法思考において活用できる。	
		高齢者リハビリテーション学 Elderly Rehabilitation Science	必修	講義	15	(1)	老年生理学に基づいて、高齢者に対するリハビリテーションを知る。	
	理学療法評価学		理学療法評価学Ⅰ Physiotherapy Assessment I	必修	演習	60	(2)	評価の概論を学び、主な検査を習得する。
			理学療法評価学Ⅱ Physiotherapy Assessment II	必修	演習	60	(2)	各疾患ごとの検査法を学び、障害を把握する方法を身につける。
			理学療法評価学実習Ⅰ Practical Classes of Assessment I	必修	実習	45	(1)	障害を把握するための技術を習得する。
			病態運動学 Pathological Kinematics	必修	演習	60	(2)	障害者の動作分析を習得し、それを機能障害と関連づけて解釈する。
			理学療法評価学実習Ⅱ Practical Classes of Assessment II	必修	実習	45	(1)	疾病や障害を想定しての評価技術を習得する。
		理学療法治療学		日常生活活動学 Daily Living Activities	必修	講義	15	(1)
			日常生活活動学実習 Practical Classes of Study Related to ADL	必修	実習	45	(1)	日常生活活動に関する技術を習得する。
			運動療法学 Kinesiology	必修	講義	60	(4)	基本的な運動療法の知識を理解する。
			運動療法学実習 Practical Classes of Kinesiology	必修	実習	45	(1)	基本的な運動療法の技術を習得する。
			物理療法学 Physical Medicine	必修	講義	15	(1)	物理療法の基礎知識を理解する。
			物理療法学実習 Practical Classes of Physical Medicine	必修	実習	45	(1)	物理療法の技術を習得する。
	義肢装具学 Prosthetics and Orthotics		必修	講義	30	(2)	義肢装具に関する基本的知識を身につける。	

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要	
専門分野	理学療法治療学	義肢装具学実習 Practical Classes of Prosthetics and Orthotics	必修	実習	30	(1)	義肢装具に関する技術を習得する。
		理学療法技術論Ⅰ Physiotherapy Skills I	必修	演習	60	(2)	整形外科疾患に対する理学療法を理解する。
		理学療法技術論Ⅱ Physiotherapy Skills II	必修	演習	60	(2)	中枢神経疾患に対する理学療法を理解する。
		理学療法技術論Ⅲ Physiotherapy Skills III	必修	演習	60	(2)	呼吸循環器疾患に対する理学療法を理解する。
		理学療法技術論Ⅳ Physiotherapy Skills IV	必修	演習	30	(1)	小児期疾患に対する理学療法を理解する。
		理学療法技術論Ⅴ Physiotherapy Skills V	必修	演習	30	(1)	難病とスポーツ障害に対する理学療法を理解する。
		理学療法技術論Ⅵ Physiotherapy Skills VI	必修	演習	30	(1)	がん、ウイメンズヘルス、糖尿病に対する理学療法を理解する。
		徒手理学療法学 Manual Physiotherapy	必修	講義	15	(1)	有痛性疾患の評価と治療の技術を身につける。
	地域理学療法学	地域理学療法学 Physical Therapist in Community -Based Rehabilitation	必修	講義	30	(2)	地域社会を基盤としたリハビリテーション活動の中で、理学療法士の役割を理解する。
		ケアマネジメント論 Care Management	必修	講義	30	(2)	ケアマネジメントの方法を理解する。
		地域理学療法学実習 Community-Based Physiotherapy	必修	実習	30	(1)	地域理学療法の実際を理解する。
	理学療法管理学	理学療法管理学 Physical Therapy Management	必修	講義	30	(2)	理学療法の業務における管理法について理解する。
	臨床実習	臨床評価実習Ⅰ Clinical Assessment Training I	必修	実習	90	(2)	学校で学んだ検査測定技術を臨床の場で体験する。
		臨床評価実習Ⅱ Clinical Assessment Training II	必修	実習	135	(3)	学内で学んだ評価課程を臨床の場で体験する。

# 2025年度 教科課程

## 理学療法士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数 )	講義概要	
専門 分野	臨床 実習						
		臨床実習Ⅰ Clinical TrainingⅠ	必修	実習	405	(9)	理学療法の全過程を臨床で体験し、習得する。
		臨床実習Ⅱ Clinical TrainingⅡ	必修	実習	405	(9)	理学療法の全過程を臨床で体験し、習得する。
	地域臨床実習 Physical Therapy Practice for Society	必修	実習	40	(1)	地域における理学療法を臨床で体験し、習得する。	
選択 必修 分野							
	理学療法総合演習Ⅰ Physical Therapy Case StudyⅠ	必修	演習	30	(1)	理学療法士として臨床現場に立つ上で必要な医療倫理について理解する。	
	理学療法総合演習Ⅱ Physical Therapy Case StudyⅡ	必修	演習	60	(2)	理学療法士として臨床現場で扱う医療情報の管理について理解する。	
	理学療法総合演習Ⅲ Physical Therapy Case StudyⅢ	必修	演習	240	(8)	具体的な症例を通して評価から治療のプロセスを理解する。	
	理学療法総合演習Ⅳ Physical Therapy Case StudyⅣ	必修	演習	30	(1)	理学療法思考を総合的に検討し、症例を通して評価から治療のプロセスを理解し、実践につなげることができる。	
	レクリエーション指導法 Teaching Method of Recreation	必修	講義	15	(1)	各種レクリエーション及びその指導法を身につける。	
	理学療法特論 Updated Physiotherapy	必修	講義	30	(2)	最新の理学療法について知識や技術を身につける。	
関連職種連携 Interdisciplinary Professional Practice	必修	講義	15	(1)	他の専門職と連携して症例へのアプローチの方法を身につける。		